誠愛リハビリテーション病院　講演
25年11月26日

回復期リハ病院の病院改革と発想の転換

大分岡病院長　森　照明

国立病院機構西別府病院名誉院長
湯布院厚生年金病院前院長・医療顧問
大分県地域包括ケア研究会会長
前大分県リハ支援センター長
大分県医療コンフリクトマネジメント研究会会長
大分地方裁判所 医事専門委員
大分県医師会医事紛争処理委員

日本脳神経外科学会専門医・評議員
日一般社団法人　大分県スポーツ学会理事長
日本臨床スポーツ医学会名誉会員
ＪＯＣ強化スタッフスポーツドクター
日本卓球協会ナショナルチームドクター

平成１３年
西別府病院の
病院改革

- 重症児・者120(県最大施設)
- 結核　　150(県最終拠点病院)
- 筋ジス　　80(県最大施設)
- 一般　　100

神経難病　小児慢性疾患、婦人科、整形外科、てんかん、発達障害

65％の患者は自力食事摂取不可

人工呼吸器60台前後稼動

発想を豊かに転換♪

- 県民・地域に貢献
- 当院にも益
- 国立病院が取り組む価値
- 他施設に競合しない
- 病人のみでなく健康人も対象
- 予防医学、健康医学の推進

意識改革

① 職員全員が主役である
② 一人一テーマを持つこと
③ 診療・研究・教育・情報発信は義務であること
④ 職場毎に月単位の目標設定
⑤ 幹部スタッフの逆評価

診療体制の改革

病院の特徴づけと患者確保をいかにするか

センター新設

① おおいた神経難病総合センター
② おおいた発達障害センター
③ おおいた睡眠呼吸センター

特殊外来開設

総合スポーツ外来、不妊外来
セカンドオピニオン外来など

西別府病院総合スポーツ外来2009年
脳
スポーツ
外来
スポーツ
心理外来
スポーツ
整形外科
スポーツ
栄養外来
選手
スポーツ
皮膚科
女性
スポーツ
外来
障害者
スポーツ
外来
スポーツ歯
科
スポーツ
内科

診療体制の改革2

- ITシステムの導入
  - 電子カルテ導入
  - 本部から相手にされず
  - 2005年　146施設中15施設
- ＭＲＩ機器導入
- 建物耐震、改修

医療の質の向上

学術推進本部設置

① 第4回医療マネジメント学会
佐賀大学主催 2005
230演題中当院が53発表

② 平成１７年度多施設共同研究
など確保
１８研究課題２０００万円

頑張る西別府病院

国立病院療養所の総合医学会

トップ、23の演題発表

学会が異例の感謝状

別府市の国立療養所西別府病院は、福岡市で開かれた「国立病院療養所総合医学会」で、二十三の演題を発表した。この数字は全国百十五の国立療養所病院の中でトップ。積極的な取り組みが評価され、学会から異例の感謝状が贈られた。同病院は「個々の職員の真摯（しんし）な取り組みが評価された」と喜んでいる。

報告会を開き、学会での様子を発表

同学会は全国の国立病院と療養所病院の職員が参加して毎年開催されている。ことしは先月開かれ、国立病院や療養所病院など百八十二の施設から約六千人が参加した。

同病院は、医局だけでなく、看護部、栄養管理室、検査室からも参加した。栄養部門の発表は全部で五題あり、このうち二題が同病院だった。内容もリスクマネジメントに

関する
報開示な
たった。
同病院
り、「目
て日々の
もう」と
を職員に
結果、例
った演題
と飛躍的
会がこの
謝状を出
という。
占部正
「若手か
で、幅広
員が学会
とで、他
換ができ
になった
長も「一
表テーマ
日常的に
持って仕
むことが
員の士気
ともに患
向上にも
と話した

1．日本医療マネジメント学会九州
山口連合大会　06.11　1400名
「医療安全とコミュニケーション」

2．第4回日本神経難病ネット
ワーク研究会　07. 10 別府200名

3. 第18回日本臨床スポーツ医学会
07. 11. 別府　約1000名

- マナー委員会設置
- 模擬患者導入
- 提案箱１５ヶ所設置
- 患者満足度調査
- 病院機能評価受審

ボランティア
システム

ボランティアシステム構築

- ボランティア事務局新設
- コーディネーター3名
- 200名登録
- 月70～100名活動

ボランティアの種類

裁縫、話し相手、遊び相手、
書道、絵画、読み語り
五行歌、行事、音楽、
入浴介助、コーラス、
総合案内　模擬患者、動物

動物ふれあい

ワンちゃんとも
顔なじみになりました！

情報共有
情報発信

▣院内ＬＡＮで全職員に回覧

集合しない電子会議も

▣院外広報活動

ホームページ。広報誌「にしべっぷ」

メディア・新聞掲載70回

院長講演・出前講座　月5～6回

内容＊スポーツ関係＊医療安全

広報活動活性化

① メディア・新聞掲載70回

② 院長講演・講義

18年1～8月　52回

内容＊医療安全・訴訟

＊スポーツ関係

＊重心・神経難病

平成２１年
湯布院厚生年金病院の病院改革

院長の基本方針

先進リハ・ケアセンター
保養ホーム
湯布院厚生年金病院

病院の理念

成人病のリハビリテーションを中心に地域の医療を担う拠点病院としての誇りと自覚に立ち、患者さんを大切に、いつも笑顔で真心こめて高度な医療を提供します。

湯布院厚生年金病院の概要１

- 昭和３７年　創立　（創設者；社会保険庁）
- 昨年開設５０周年
- 平成１５年　大分県リハビリテーション支援センター指定
- 平成１６年　在宅総合ケアセンタームーミン開設
- （通所リハ、訪問リハ、訪問看護など）
- 平成１７年　保健文化賞受賞
- 平成２０年　日本医療評価機構認定（V5）更新
- 平成２３年　１０月７日
- リハビリテーション付加機能再認定
- 平成２４年　日本医療評価機構認定（V6）更新

湯布院厚生年金病院の概要２

標榜科；４科（内科・循環器科・整形外科・リハビリ科）

許可病床数　：291床

回復期リハ病棟　３病棟１８０床（一般６０、療養１２０）

亜急性病棟４０床　　一般病床７１床

職 員 数　：５１３名（H２４年7月1日現在）

医師　１７名　看護師　１７６名

リハスタッフ　１５３名（ＰＴ69　ＯＴ58　ＳＴ26）

専門職　１０９名　事務２０名

1. 経営基盤

2012年の経営上の課題

- **年間平均入院患者273名以上の確保**
- **2億3000万円の経常利益確保**
- 入院・退院調整システムの実効化
- リハ取得単位の確保
- 各職場のさらなる効率化
- 診療報酬改定への対応
- 由布市地域医療システムの構築
- 地域包括ケアシステムの具現化
- チーム医療・情報公開・共有。対等の立場で

患者確保は最大の経営効果！！

患者さんが当院を選んできてくれるには

- 治してくれる、医療技術の高い病院
- 設備、環境施設の良い病院
- 職員の質、マナーが良い病院
- すぐ診てくれて、入院を待たない病院

⇒これらの集大成が患者確保に直結

2. 医療の質

- 臨床指標の向上
- 患者満足度の向上
- 医療安全の確立
- 職員の接遇・マナー向上
- ＥＢＭに基づく質の高い診療
- ＥＢＭづくり先進リハ・ケアセンター開設
- 学術部新設
- 研修会　外部講師月２～３名招請
- 環境・ネットワーク整備　などなど

２０１１年２月開設

先進
リハビリテーション・ケアセンター
湯布院

現在　２４チームの臨床研究チーム

1. ロボットスーツHAL® チーム

（共同研究） CYBERDYNE㈱
大分大学医学部　整形外科

チーフ ： 梅野裕昭 （理学療法士）
指　導 ： 針　秀太 （整形外科部長）

2. リズム歩行アシストチーム

（共同研究） 本田技術研究所

チーフ ： 渡邊　亜紀 （理学療法士）
指　導： 宮崎　吉孝 （内科部長）

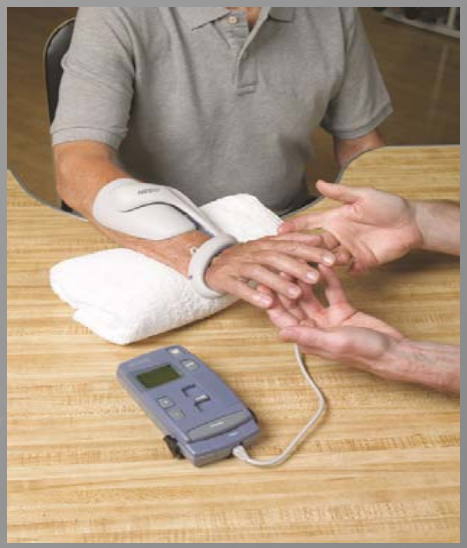
3. 磁気刺激 チーム

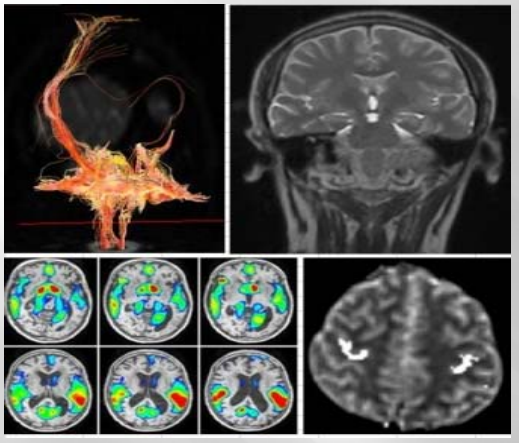
（共同研究） 大分大学医学部　脳神経外科

チーフ ： 森　敏雄 （神経内科部長）

4. 電気刺激チーム

チーフ ： 江藤　江利香 （理学療法士）
　　矢野　高正　 （作業療法士）
指　導 ： 森　敏雄　　（神経内科部長）





5. 画像評価「MRI」チーム

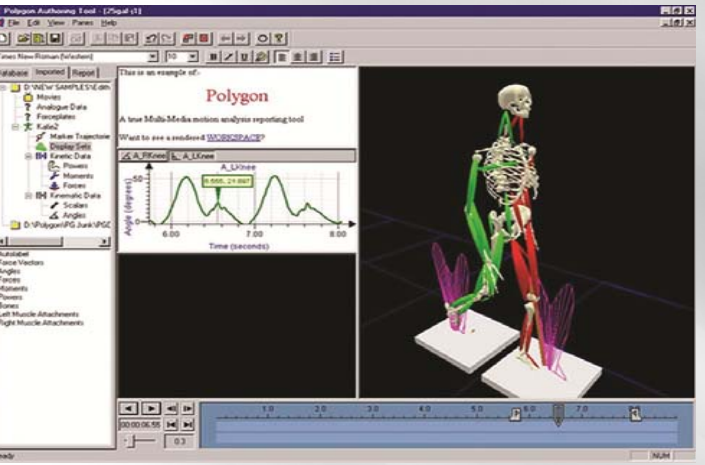
（共同研究） 東芝メディカル
　　大分大学医学部　放射線科

チーフ ： 後藤　洋一（内科部長）

6. 画像チーム「NIRS」チーム

（共同研究） 日立メディコ

チーフ： 矢野　高正（作業療法士）
指　導： 森　敏雄　（神経内科部長）



7. 三次元動作分析チーム

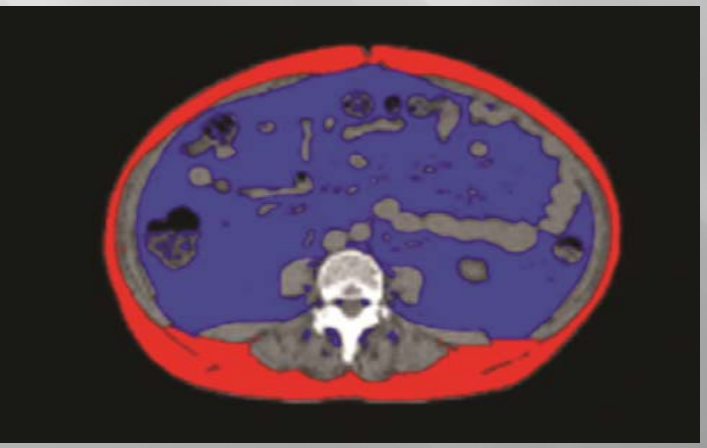
（共同研究） 九州共立大学スポーツ学部准教授　木寺　英史
大分大学医学部　整形外科

チーフ ： 梅野　裕昭 （理学療法士）
佐藤　周平 （理学療法士）
指　導 ： 宮崎　吉孝 （内科部長）

8. 胃管挿入ガイド装置開発チーム

（共同研究） 大分大学工学部准教授　後藤　雄治

チーフ ： 宮崎　吉孝(内科部長)



9. 「ビッセラーズ」:メタボチーム

（共同研究） 大分大学医学部　Ｉ内科　脳代謝研究室

チーフ ： 大隈　まり(内科医長)

10.「食べる」：摂食・嚥下チーム

チーフ ： 木本 ちはる（看護師長）
森 淳一 （リハビリテーション部 副部長）
指 導： 安部 隆子 （循環器内科部長）

１１． ゆふ医科歯科チーム

平成２３年度厚生労働省「チーム医療実証事業」指定
平成２４年度厚生労働省チーム医療普及推進事業

（共同研究） 大鶴歯科医師会

チーフ ： 森 淳一 （リハビリテーション部 副部長）
指 導 ： 井上 龍誠 （副院長）

12. カミング（噛みんぐ）チーム

チーフ： 衛藤 恵美 （歯科衛生士）

13. 心のケアチーム

チーフ ： 大隈　和喜 （内科部長）

14. 「ゆふ響き合い」：医療コミュニケーションチーム

（共同研究） 国際医療福祉大学大学院教授　中野　重行
豊の国医療教育ボランティア会
響き合いネットワーク連絡協議会　他

チーフ ： 末松　文博（薬剤部長）

15. 「おもしろ隊」：リハ生き生きメニューチーム

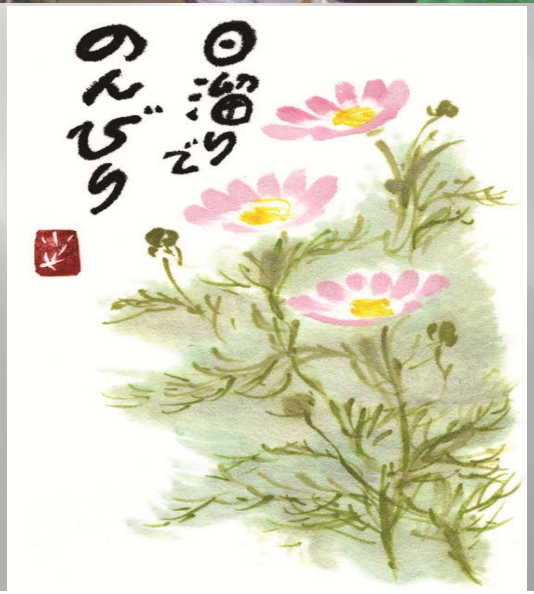
チーフ ： 森　淳一 （リハビリテーション部　副部長）

16. パロ（メンタルコミットロボット）チーム

チーフ ： 梅尾　さやか （看護部長）

17. 家族ピアサポート（家族看護）チーム

チーフ ： 佐藤　史 （看護師長）



18. 患者の生きがいサポートチーム

チーフ： 河野　寿々代 （副看護師長）

19.「セーフ」： 医療安全チーム

チーフ ： 井上　龍誠 （副院長）

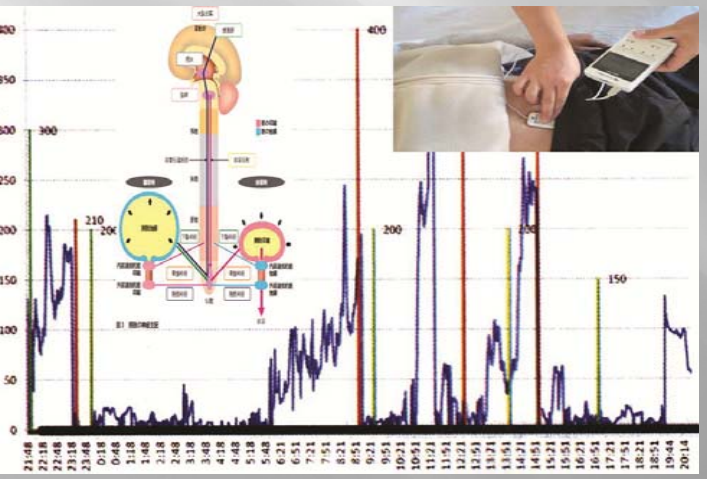
２０．　「ころばん隊」： 転倒予防チーム

平成２３年度厚生労働省「チーム医療実証事業」指定
平成２４年度厚生労働省チーム医療普及推進事

（共同研究）　大分大学工学部福祉環境工学科
人間システム工学講座　教授　今戸　啓二

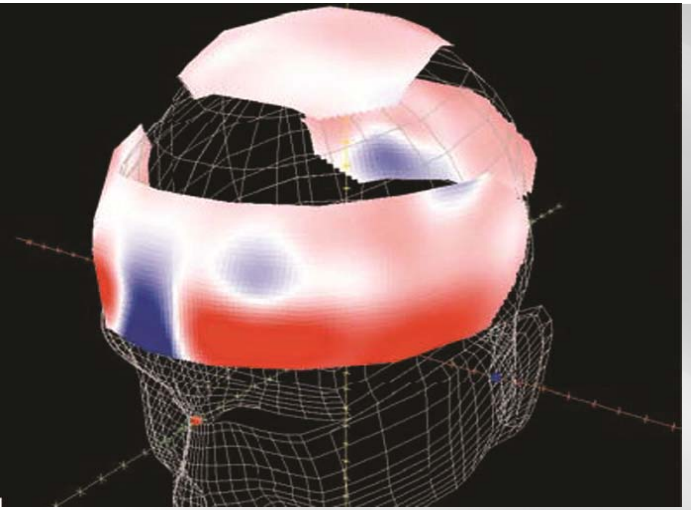
チーフ　：　佐藤　浩二　（リハビリテーション部　部長）

21.「ゆ～りん」: 排泄リハケアチーム



（共同研究）たけしば電気・ユニチャーム
大分大学医学部腎泌尿器外科

チーフ： 太田　有美　（作業療法士）
近藤　真智子（看護師長）
指　導： 井上　龍誠　（副院長）
佐藤　和子　（大分大学医学部看護学科客員研究員）



２２．　高次脳機能チーム

チーフ ： 中島　美智 （内科医長）

23.「メッツ」：健康増進・アスリートチーム

チーフ ： 福永　充 （内科部長）

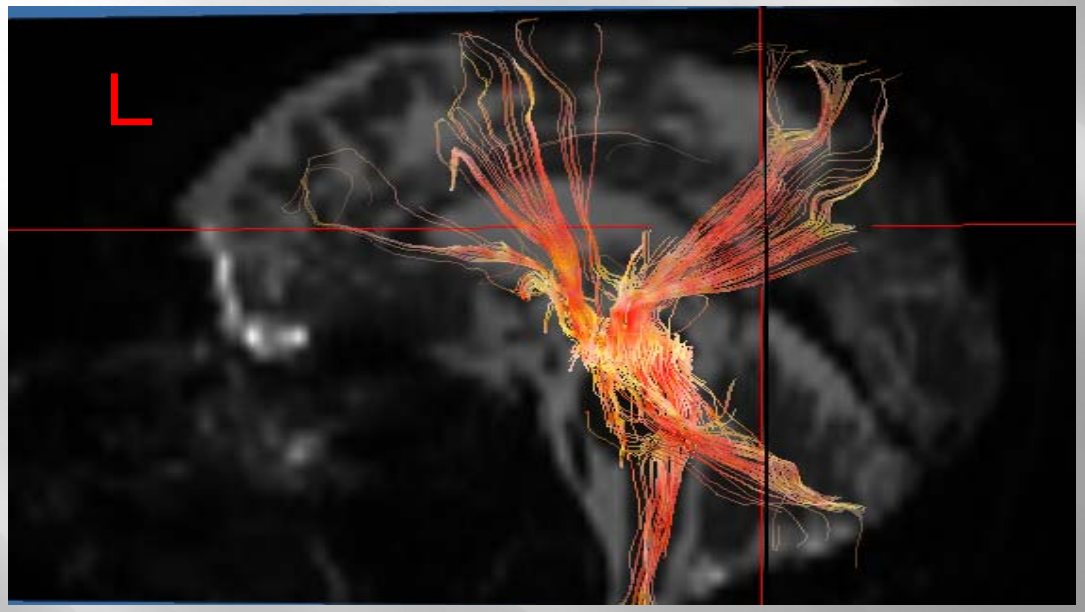
24. 温泉治療チーム

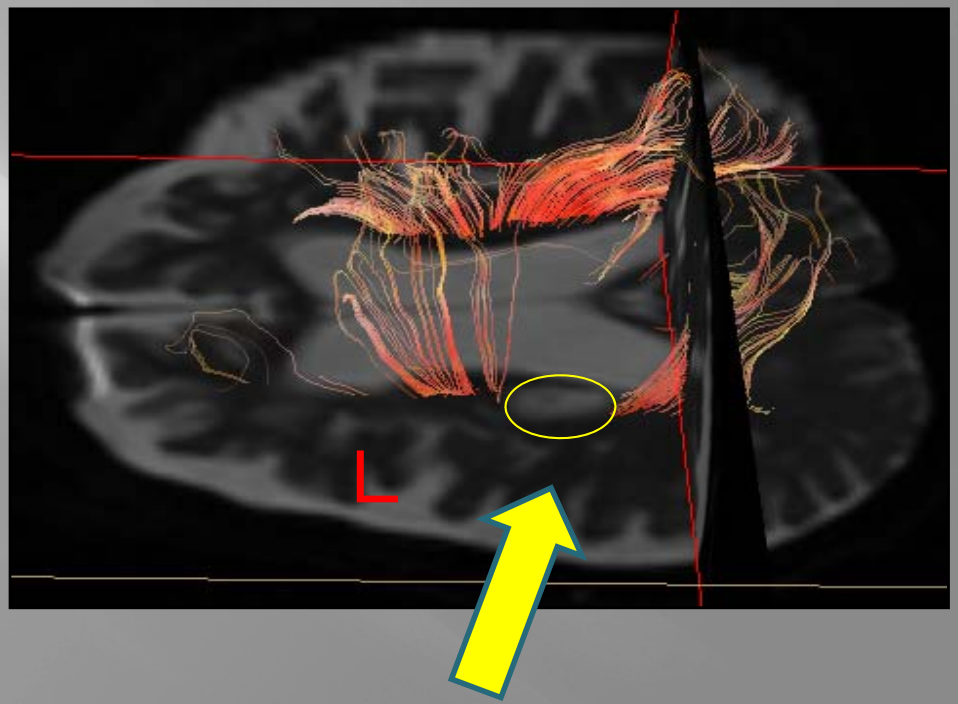
（共同研究） 由布市クアオルト研究会

チーフ： 桑野　愼一郎 （副院長）

Ｔｒａｃｔｏｇｒａｐｈｙ

運動・知覚神経線維の走行が見れる

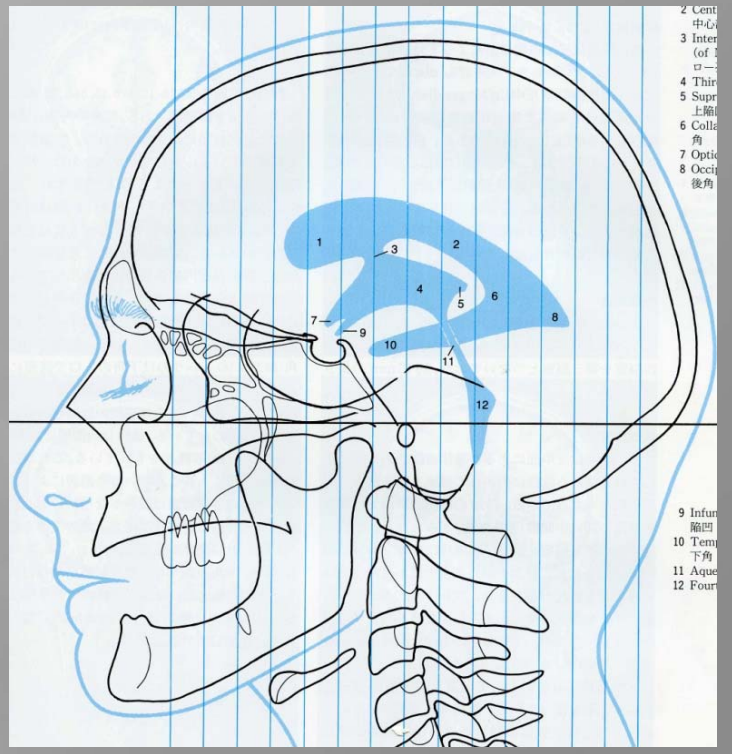


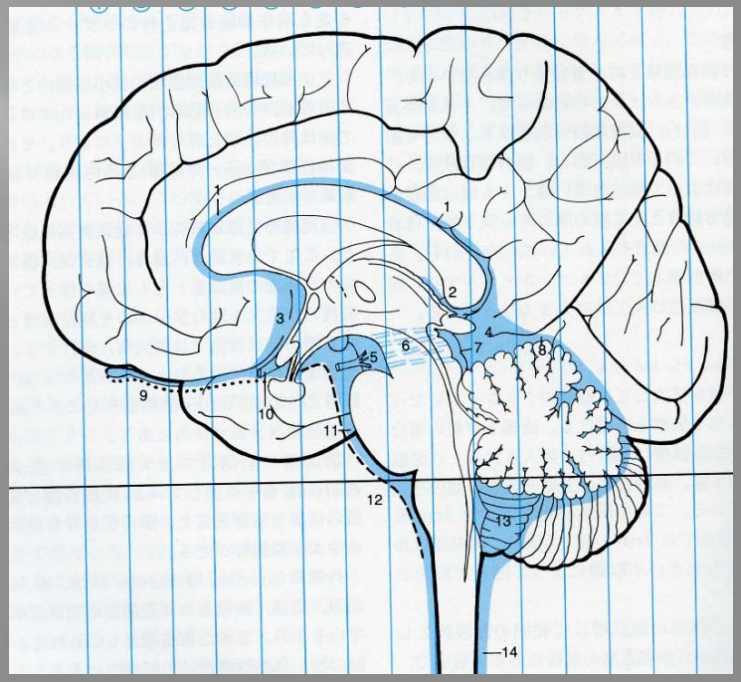


当院左脳梗塞患者　病巣の線維は欠損

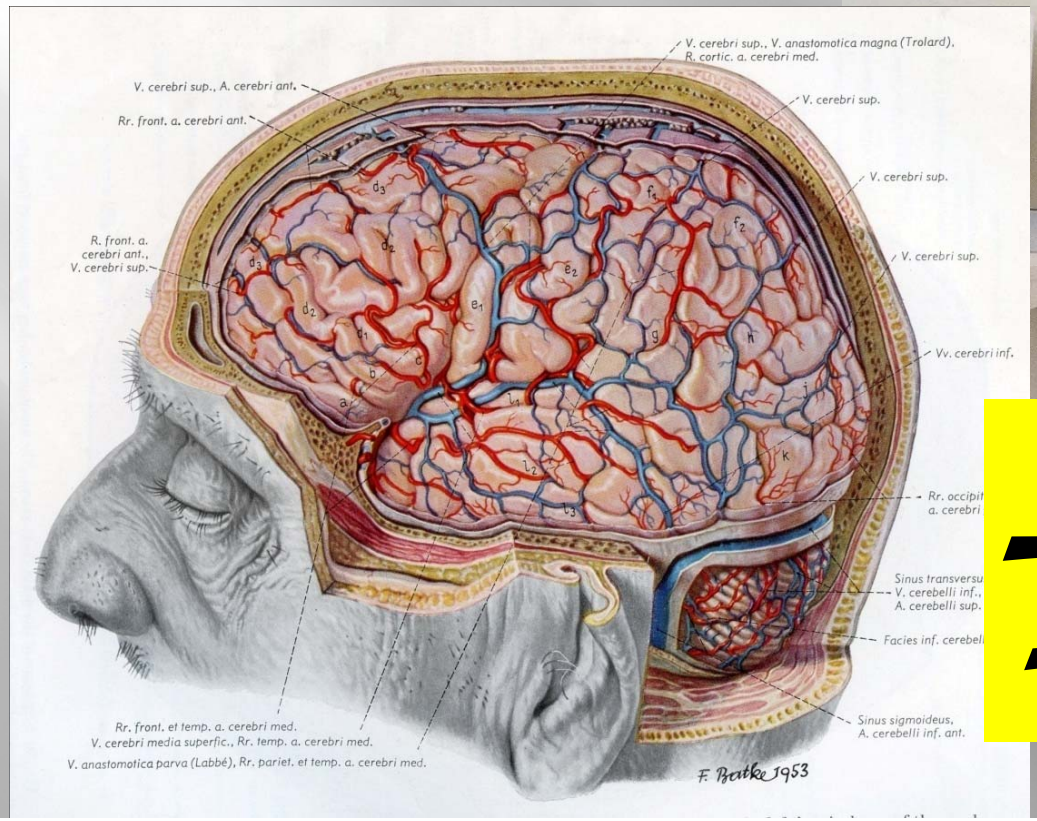
脳脊髄液の流れ

H
A
P
F
WL:1877 WW:4405
4.61


1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12


1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14

光トポ（ＮＩＲＳ）
脳表面の血流、活性部位が判る



三次元動作分析チームとの合体

厚労省

チーム医療実証事業

普及推進事業

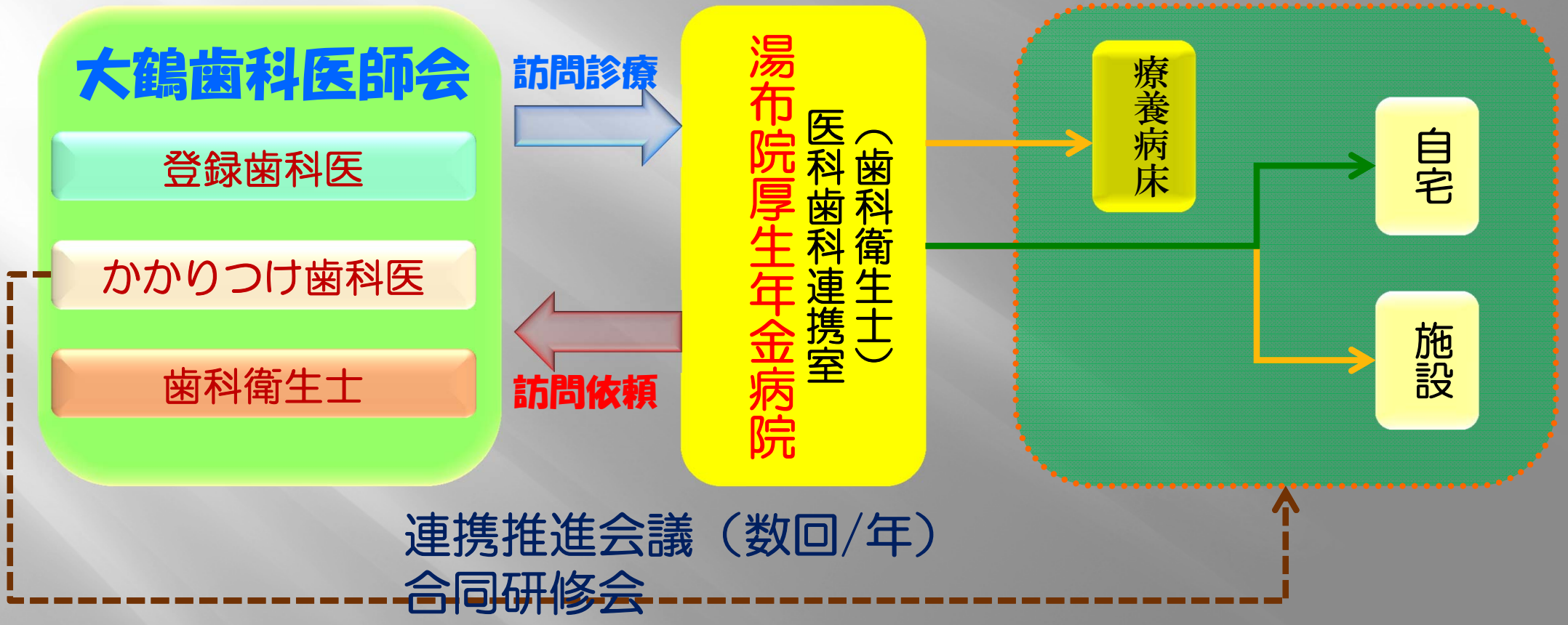
ゆふ医科歯科チーム

（大鶴歯科医師会）

井上龍誠副院長

ゆふ医科-歯科連携システム

（大鶴歯科医師会　－　湯布院厚生年金病院）



入院時口腔内
～2011.1.20～

退院時口腔内
～2011.7.11～

歯周病は
①脳梗塞
②心筋梗塞
③糖尿病
④肺炎の素

厚労省

チーム医療実証事業

普及推進事業

ころばん隊

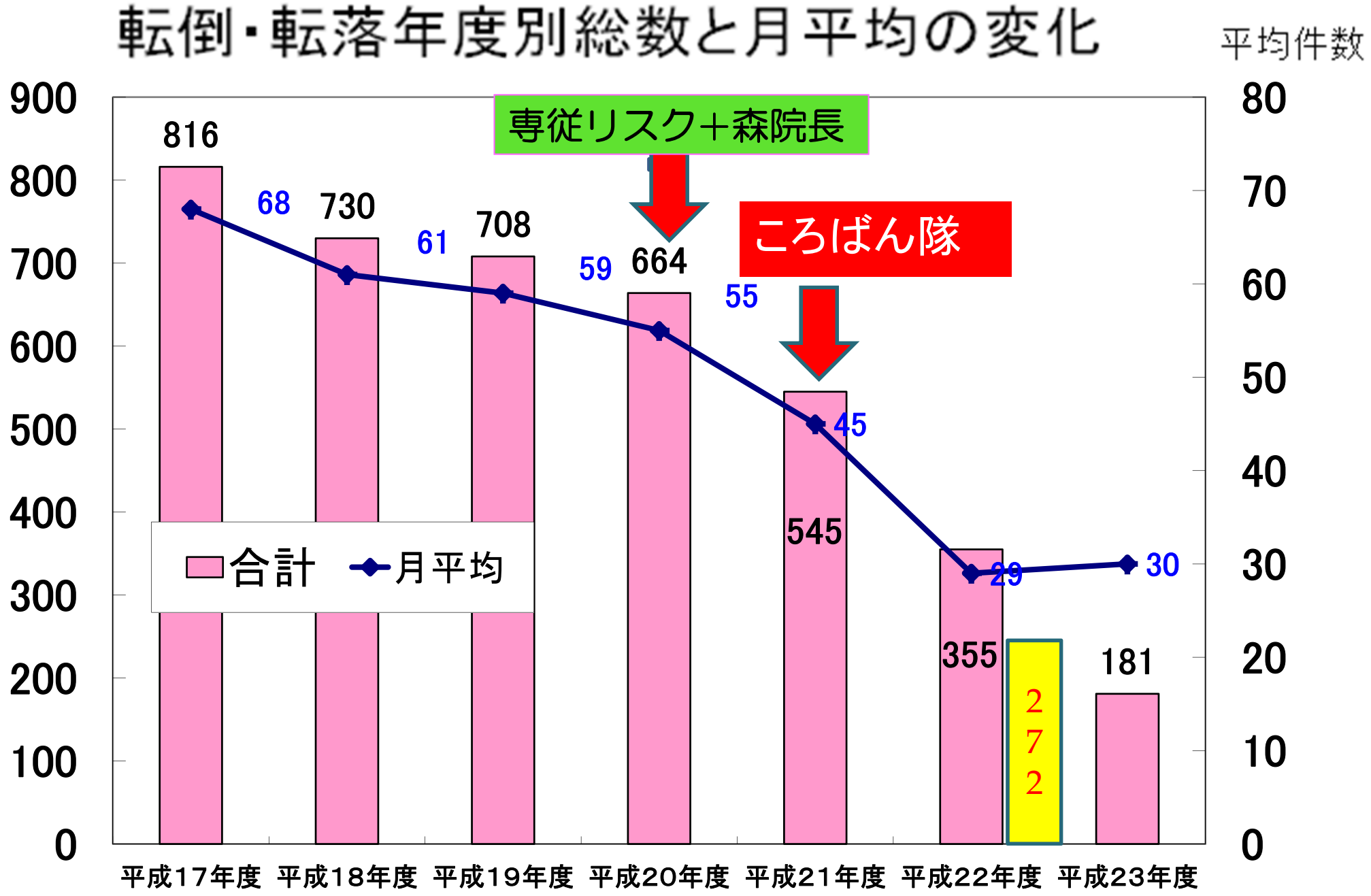
（転倒予防チーム）

（大分大学福祉環境工学）

佐藤浩二リハ部長

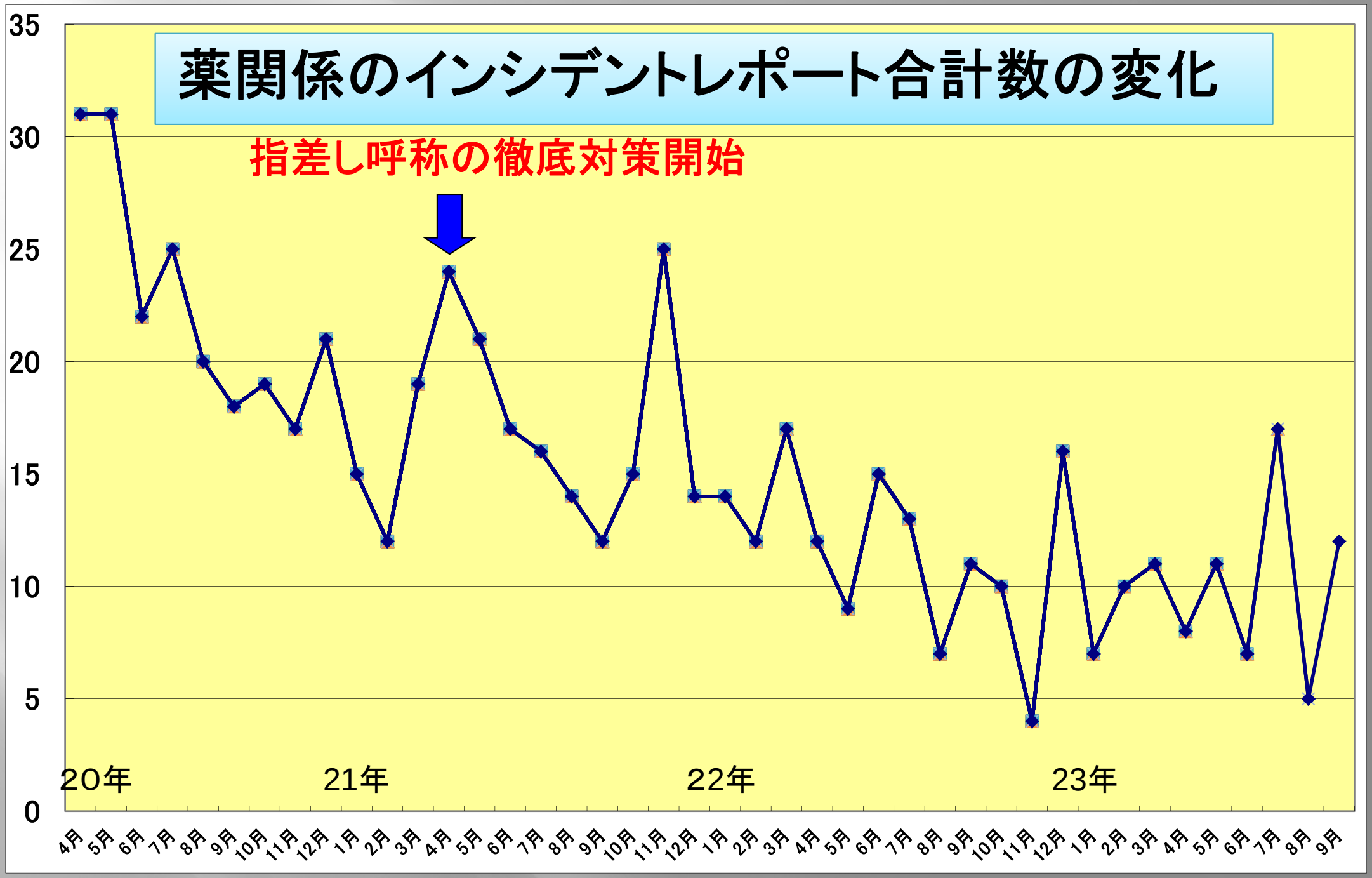
転倒転落防止１０カ条
ビデオ作製

1.慣れたころ初心にかえろう2と4週！
2.早朝と夕、転びやすいぞ、魔の時間！
3.トイレ・部屋　転倒頻発　気をつけて！
4.装具装着キッチリと、それは転ばぬ先の杖！
5.物を取る、しっかり近づき踏んばって！
6.車椅子、位置とブレーキ、足のせ台！
7.床頭台、杖の代わりと過信せず！
8.濡れた床、よくみろ、転びの誘い水！
9.主治医活動認定証、それが私のできること！
10.職員を呼ばない遠慮は転ぶもと！


転倒・転落年度別総数と月平均の変化
平均件数
900
800
700
600
500
400
300
200
100
0
80
70
60
50
40
30
20
10
0
専従リスク＋森院長
ころばん隊
816
730
708
664
545
355
272
181
68
61
59
55
45
29
30
合計
月平均
平成17年度
平成18年度
平成19年度
平成20年度
平成21年度
平成22年度
平成23年度

薬剤関係のインシデント0(ゼロ)を目指して！

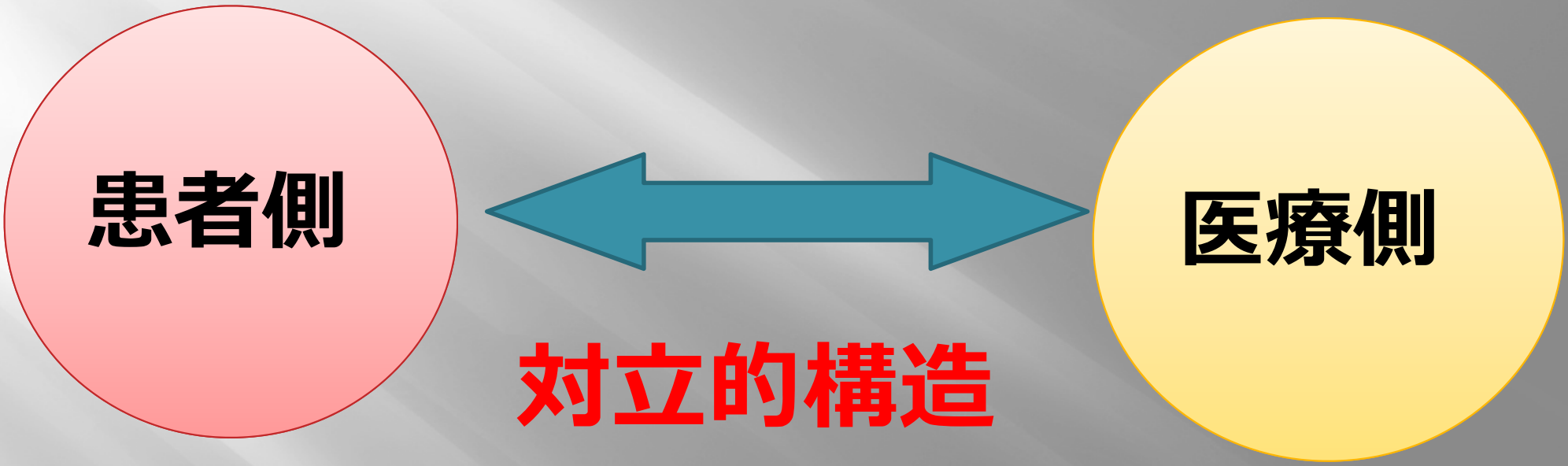
絶対にゼロにする強い決意！


薬関係のインシデントレポート合計数の変化
指差し呼称の徹底対策開始
35
30
25
20
15
10
5
0
20年
21年
22年
23年
4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月

医療安全とコミュニケーション

2極構造；

従来型の初期対応：二項対立



対立的構造

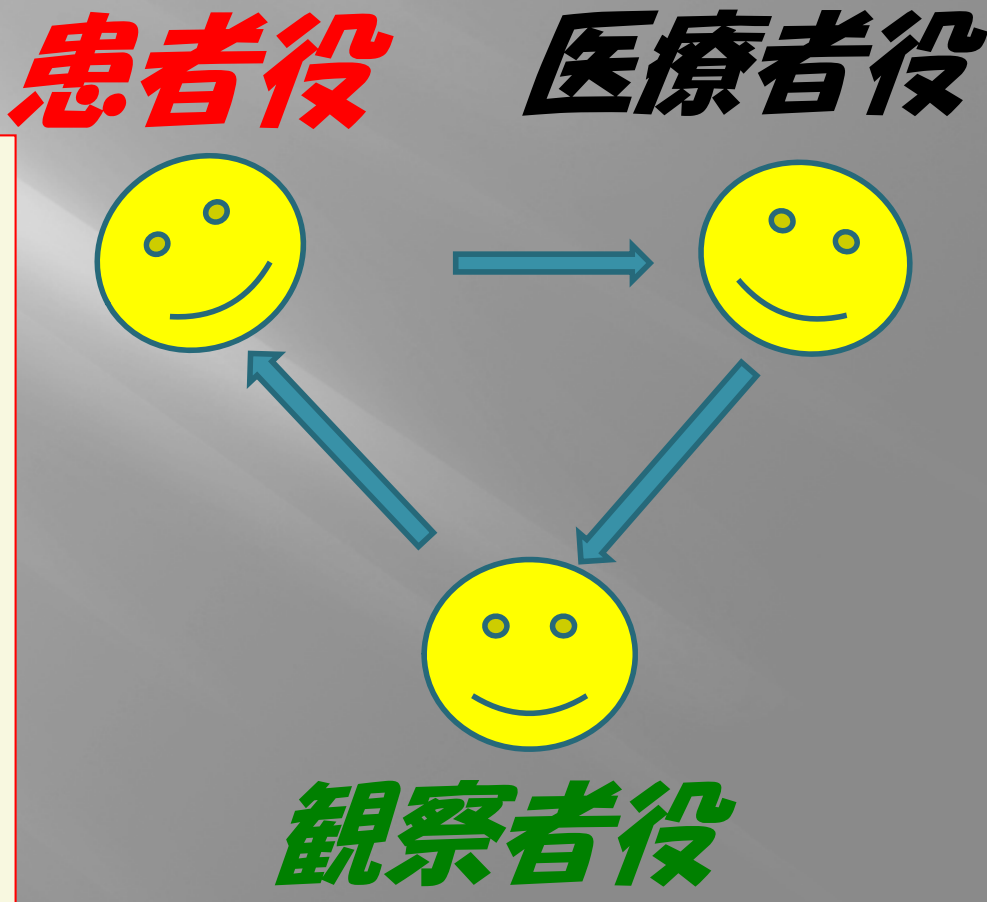
構える

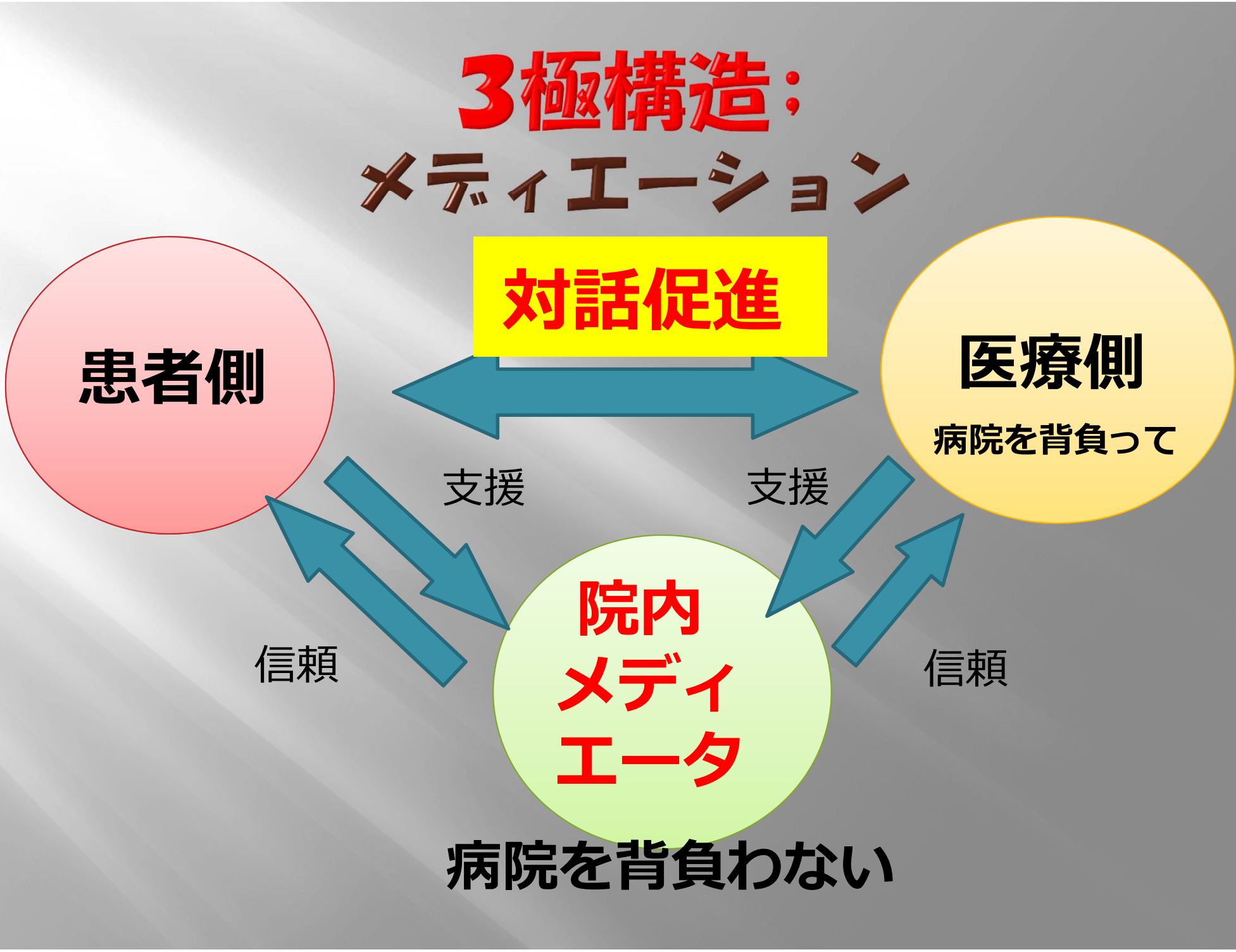
病院を背負って

SP参加医療コミュニケーション実習

プログラム

1. コミュニケーション概説
2. ロールプレイ実習の
   説明
   デモンストレーション
3. 全員でロールプレイ
4. みんなで分かち合い




3極構造：
メディエーション
対話促進
患者側
医療側
病院を背負って
支援
支援
信頼
信頼
院内
メディ
エータ
病院を背負わない

医療メディエーターとは

- 医療メディエーター（医療対話仲介者、仲裁者）はいずれにも偏らず、**自分の見解や評価・判断を示さず**、**「問いを立て質問を繰り返す」**ことで、当事者が情報を共有するよう支援する。

危機管理
医療安全

▣個人の資質に頼らない システム作りと人材育成

日頃からヒヤリハットの集積、分析、迅速・適確な処理と情報共有をし、来る事故を想定し対策を練っておく

クレーマは敵か？！
医療コンフリクトは悪か？！

- 患者が満足する医療の発見の場
- 医療者としての成長の場
- ⇒真摯に向き合い理解しあう
- ⇒敵視、排斥に動かない

有効な再発防止策はあるのか

- 指差し呼称
- ダブルチェック
- リスクマネージャーの巡回
- 患者側からのチェック

- **毎朝**、院長、副院長・看護部長で前日のヒヤリハット・事例の検討（年間約400例）
- 事故・過誤・トラブル報告は**3分以**内に院長へ

- 臨時・緊急委員会開催
- 事実の確認と情報の共有
- 分析し対策と予防策
- 顧問弁護士に相談
- 第３者評価機関の設置
- 事故発生当該者を守る

重要なことは

- 隠さない
- 改ざんしない
- ごまかさない
- 再発を防ぐ

医療訴訟の2大原因

- 説明不足
（インフォームドコンセント）
- 結果重大

患者を守り、自分も守るには

3. 地域

地域リハビリテーション

≒

地域包括ケアシステム

（リハ、脳卒中、がん、認知症等）

- ***地域包括ケアシステムの定義***

「ニーズに応じた住宅が提供されることを基本とした上で、生活上の安全・安心・健康を確保するために、医療や介護のみならず、福祉サービスを含めた様々な生活支援サービスが日常生活の場（日常生活圏域）で適切に提供できるような地域での体制」

（地域包括ケア研究会報告書H22年3月）

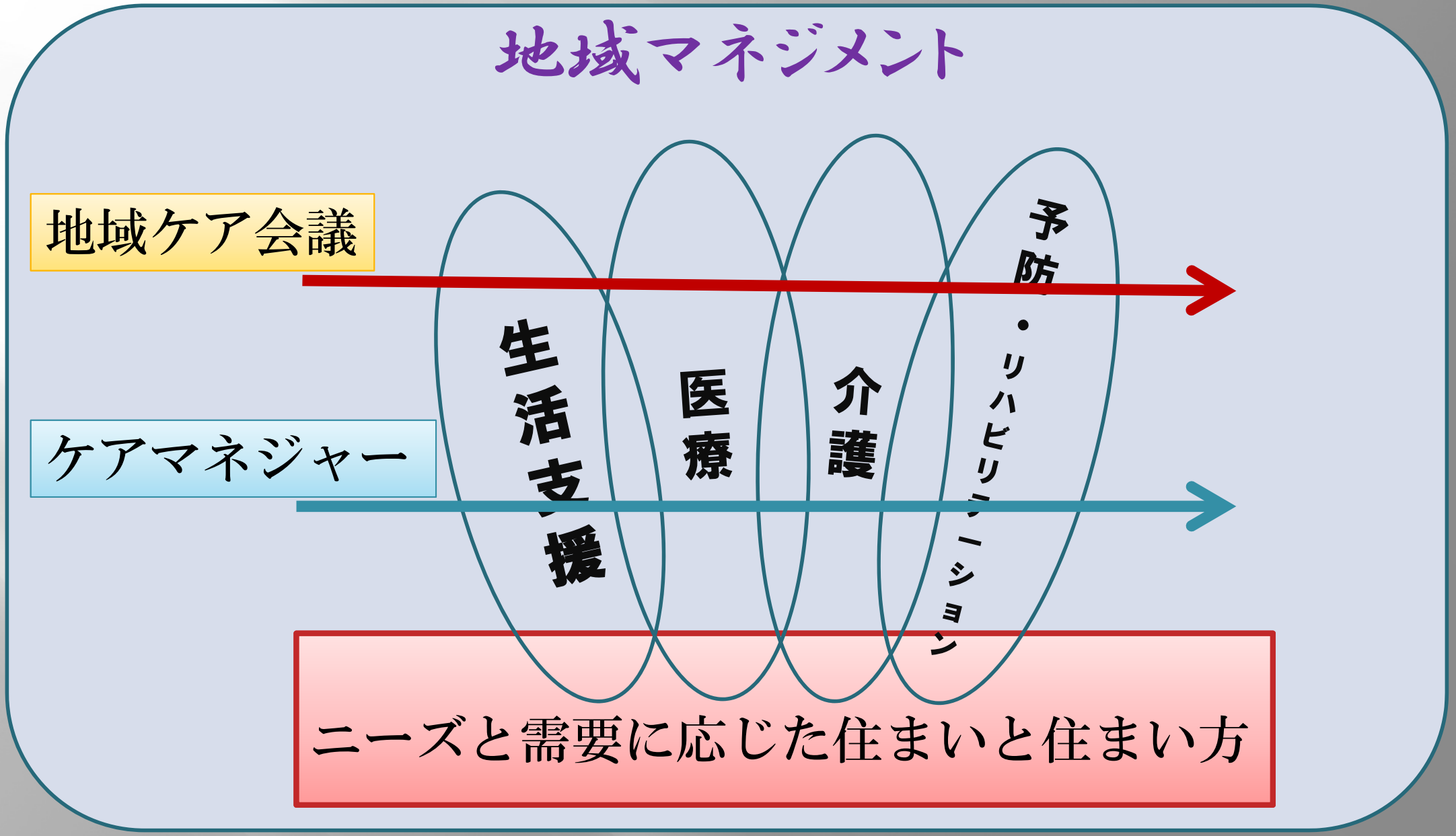
- ***地域リハビリテーションの定義***

「障害のある人々や高齢者およびその家族が住み慣れたところで、そこに住む人々とともに、一生安全に、いきいきとした生活が送れるよう、医療や保健、福祉及び生活にかかわるあらゆる人々や機関・組織がリハビリテーションの

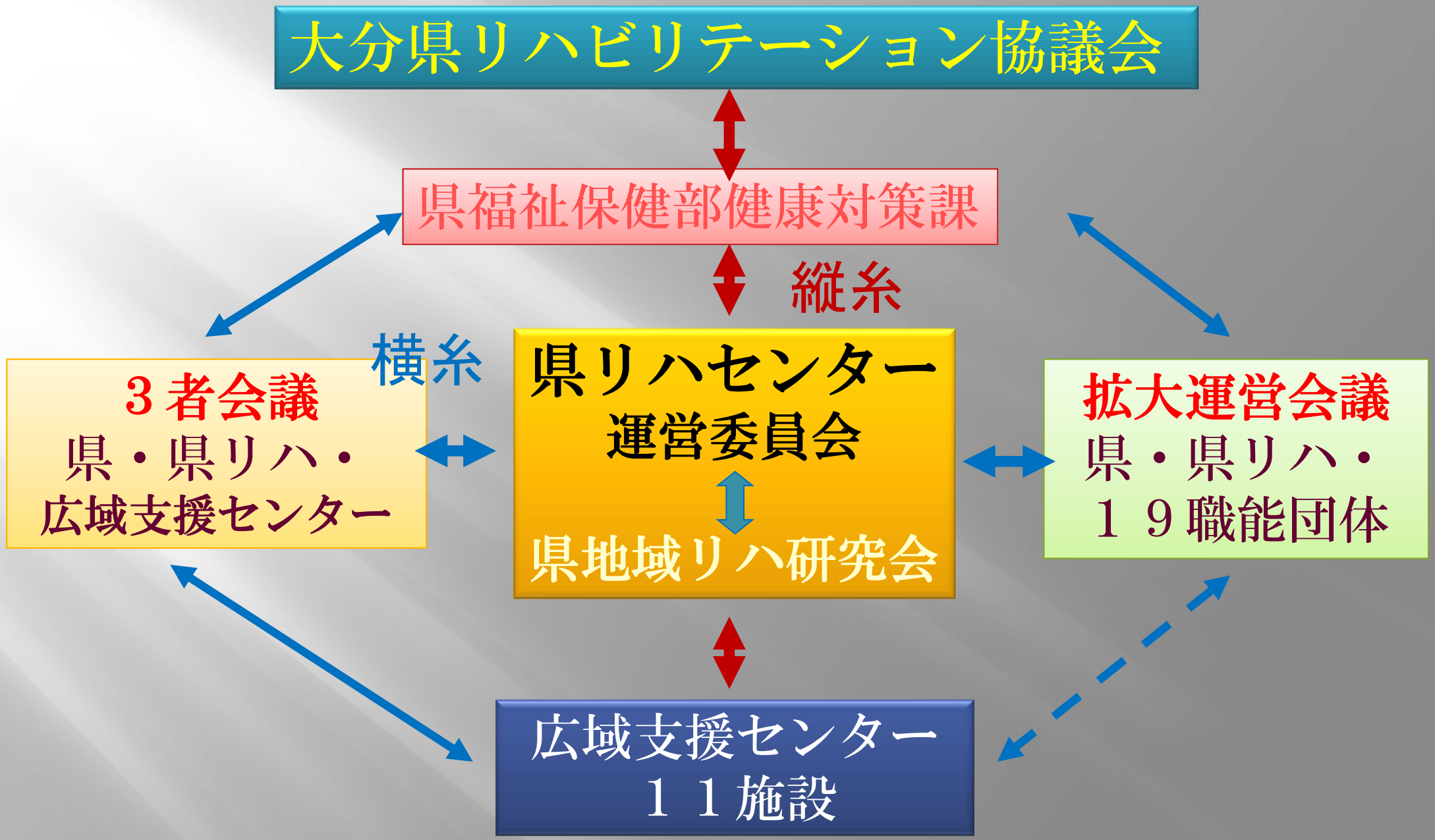
立場から協力し合って行う活動のすべてを言う」

（日本リハビリテーション病院・施設協会）

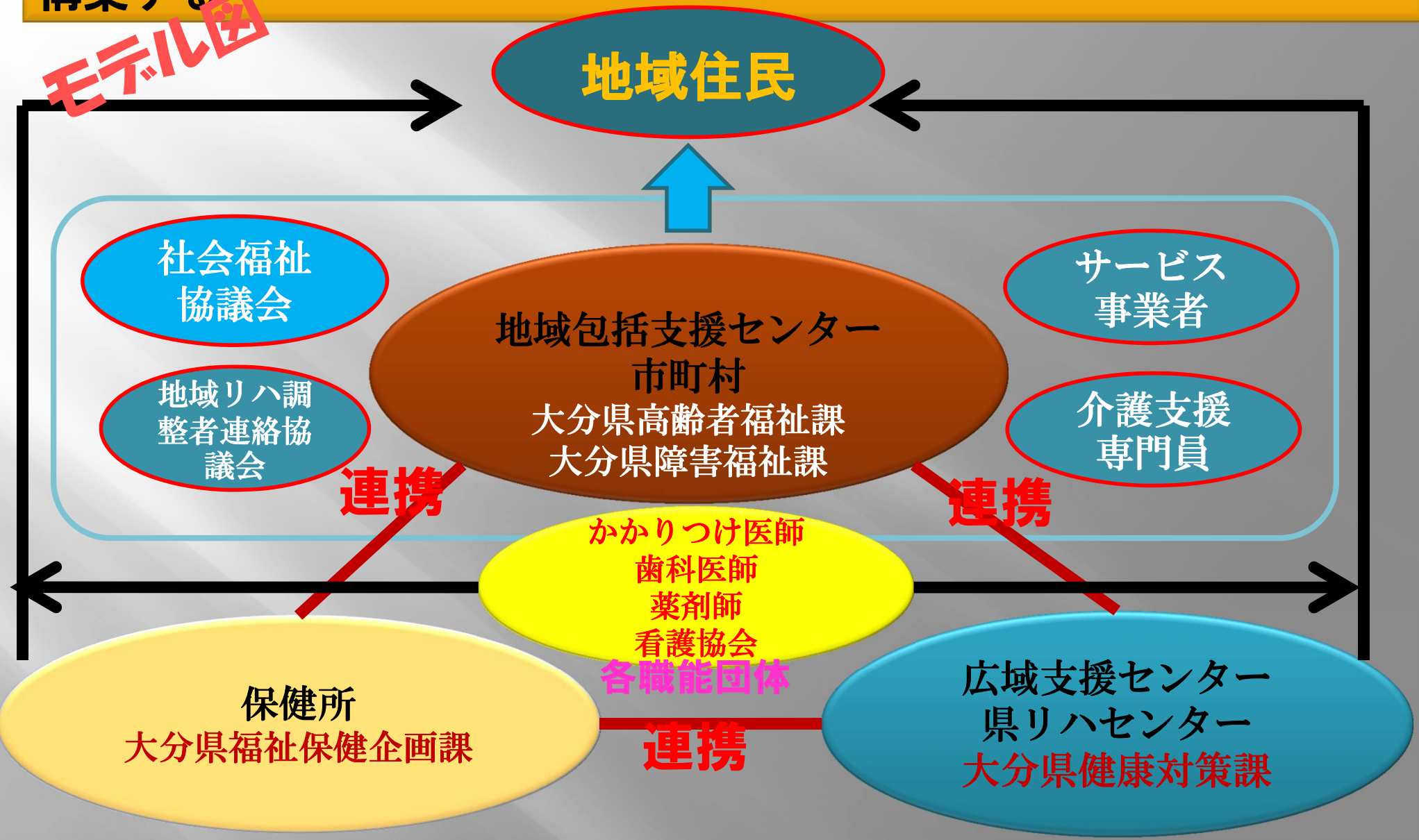
地域包括ケアのイメージ図



田中滋資料より


大分県リハビリテーション協議会
県福祉保健部健康対策課
縦糸
横糸
３者会議
県・県リハ・
広域支援センター
県リハセンター
運営委員会
県地域リハ研究会
拡大運営会議
県・県リハ・
１９職能団体
広域支援センター
１１施設

ＩＣＦの視点で地域リハ・ケアを推進し地域包括ケアシステムを構築する



4. 職員

全員の新機構への移行

人材育成システム

環境整備

短中期の展望

- **短期　1年半後　推進機構への移行**
  - ①新機構移行後の体制・環境整備
  - ②先進リハ・ケアセンター医療中核とした医療
  - ③地域包括ケア、在宅医療システム整備と実施
- **中期　5年前後　　新機構が本格稼働**
  - ①先進リハ・ケアセンター医療中核医療
  - ②地域医療・地域包括ケアシステムの実現
    （がん、認知症、一次救急、小児科など）
  - ③在宅医療、地域医療ネットの構築など
  - ④人事異動軌道に乗る　など

大分岡病院
病院改革

25年7月1日より大分岡病院院長

創立60周年　社会医療法人の急性期病院

231床　4センターと22診療科、医師50名

マキシロフェイシャルユニット　歯科医師6名

大分県スポーツ医科歯科研究会設立予定

クオリティクラス 継続Aクラス認証

認証病院(2012-13)

社会医療法人　敬和会　大分岡病院

【病院概要】

院 長 ： 森　　照明　氏

所在地 ： 大分県大分市西鶴崎 3 丁目 7 番 11 号

病床数 ： 一般病床　231 床

職員数 ： 491 名

標榜科 ： 23 科

（外科・心臓血管外科・脳神経外科
整形外科・形成外科・胸部外科
救急科・内科・循環器科・神経内科
腎臓内科・糖尿病内科・呼吸器科
消化器内科・腫瘍内科・血液内科
歯科口腔外科・矯正歯科・皮膚科
小児科・放射線科・麻酔科
リハビリテーション科）

主な特徴：病院機能評価認定、地域医療支援病院、DPC 対象病院、開放型病院、基幹型医師臨床研修病院、
二次救急指定病院　等

社会医療法人　敬和会

- 大分岡病院
- 大分東部病院　回復期リハ50床
  新設予定
- 大分豊寿苑

  老健施設、居宅介護、ヘルパーST
  訪問看護、グループホーム、小規模多機能
  短期生活介護、

これからの予定－1

- 急性期から在宅まで一貫したリハ体制の確立
- 東部総合リハケアセンター設立
  1. 摂食・咀嚼・嚥下センター
  2. 排尿リハケアセンター

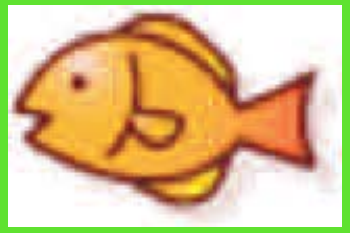
アジアを目指す！

これからの予定－2

- 大分フィッシュ哲学研究会
- 大分スポーツ医科歯科研究会
- 日本医療メディエーター協会
  大分部会設立

組織の活性化

フィッシュ哲学



フィッシュ哲学とは

米国のシアトルにあるパイク・プレイス公営市場にあった、さびれた魚市場がみんなで実践するようになって、見事に復活したという話で知られるのが、（魚市場なので）「フィッシュ哲学」と言われる

4つの基本

1. Be there…*相手に注目する*
2. Play…*遊び心で楽しく…*
3. Make their day…*人を喜ばす*
4. Choose your attitude…

態度を決める

大分県
スポーツ学会
設立
２０１０年3月

平成24年度

第1回 大分県スポーツ学会認定

スポーツ救護講習会

募集人数
定員100名

■開催日

第1回
平成24年4月28日(土)
6月 2日(土)
7月21日(土)

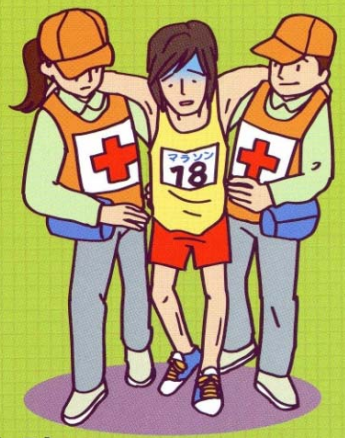
第2回
平成24年 9月30日(日)
10月28日(日)
11月11日(日)

■会　場
社団法人　大分県看護協会
大分看護研修センター 大研修室
大分市大字豊饒310番地の4　TEL(097)574-7117

対象資格
スポーツ救護を学びたいもの
(医療職・教育職・一般・大学生)

受講費用
受講費用は、1日1,000円として、
受付時に徴収する。

申込締切日
第1回／平成24年3月20日(火)
第2回／平成24年8月30日(木)



問い合わせ・申込先

湯布院厚生年金病院　健康増進センター“げんき”内
大分県スポーツ学会事務局　FAX(0977)84-5408
〒879-5193　大分県由布市湯布院町川南252
TEL(0977)84-3171 担当:福林・梶原(内)292・529　栗秋(内)696

【主催】大分県スポーツ学会　【共催】(社)大分県看護協会
【後援】大分県教育委員会、(公財)大分県体育協会、(社)大分県医師会、(社)大分県薬剤師会、(社)大分県栄養士会、(公社)大分県理学療法士協会、(社)大分県作業療法協会、(社)大鶴歯科医師会、(社)大分県サッカー協会、

大　今　合　同

スポーツ救護ナース

1期生120人認定

県スポーツ学会

修了証を受け取る第1期生

①大分県医療コンフリクト
マネジメント研究会

②日本医療メディエーター
協会大分部会新設

2013年1月

「医療者と患者・家族が共に満足できる医療コミュニケーションについて調査、研究し、情報を共有し、課題と対策を研究する」事を目的とする

1. 医療トラブル事例の勉強会
2. 模擬患者の医療コミュニケーショントレーニング
3. 医療メディエータのマインドとスキルに関する学習
4. 医療者と患者との相互理解のための教育・研究

ホームページ開設

http://oita-cm.com

大分県 医療コンフリクト

トップページ | 研究会について | スケジュール | 活動報告 | 入会案内 | 会に関する新聞記事 | リンク

患者と医療者の対話促進のために

医療者が患者･家族の訴えに傾聴し共感するための医療コミュニケーションおよび医療メディエーションのマインドとスキルを勉強すると共に、医療情報共有のあり方についても患者･家族と共に考えていきたいと考えています。

新着情報

- 2013年6月 4日　設立記念講演会報告が日本メディエーター協会ニュースレターに掲載されました。
- 2013年5月28日　研究会が「医療の質･安全学会 パートナーシッププログラム」に登録されました。
- 2013年5月17日　研究会に関する新聞記事をダウンロード出来ます。
- 2013年5月17日　第1回定期セミナーの講義資料が会員専用ページからダウンロード出来ます。
- 2013年5月17日　第1回定期セミナーの記事が大分合同新聞に掲載されました。
- 2013年5月15日　サイトをオープンしました。

お知らせ

第１回定期セミナーが開催されました

セミナーの様子がご覧いただけます。

入会方法について

申込み用紙がダウンロードできます。

設立記念講演会が開催されました

記念講演会の写真がご覧いただけます。

会員専用ページ

入会案内
ADMISSION

事務局

〒879-5193
由布市湯布院町川南２５２
湯布院厚生年金病院内
末松（麻酔部）
田中（庶務課）

活動報告 REPORT

設立記念講演会　平成２５年１月５日

別府ビーコンプラザ　国際会議場にて大分県医療コンフリクトマネジメント研究会「設立記念講演会」が開催されました。
テーマは、**患者と医療者の対話促進のために**
主催は、大分県医療コンフリクトマネジメント研究会 ・ 先進リハビリテーション･ケアセンター湯布院（湯布院厚生年金病院内）です。

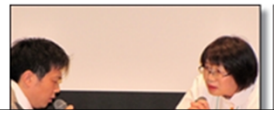
年明け早々の開催でしたが、会場は満席となりました。

■記念講演会ポスター

世話人と監事の先生

顧問の先生

特別講演1.「患者家族から医療者へのメッセージ」
NPO法人SIDS家族の会　寺尾るみ子　氏
特別講演2.「医療コミュニケーションと模擬患者(SP)：
サイエンスとアートの視点から」
大分大学医学部創成育成コミュニケーション講座教授　中野重行　先生



会員専用ページ

入会案内
ADMISSION

事務局

〒879-5193
由布市湯布院町川南２５２
湯布院厚生年金病院
末松文博（麻酔部）
田中克典（庶務課）

患者を守り、
自分を守り、
職員・病院を守る